

カウカウ情報2025

12月市



光都農業改良普及センター

12月10日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が119万8千円、雌が99万7千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	6	1.026	1,173,517	2	0.760	777,150	8	1,074,425
丹波篠山	8	0.943	1,210,138	1	X	X	9	1,182,011
丹波	20	0.923	1,205,875	25	0.851	972,972	45	1,076,484
朝来	15	1.014	1,192,180	5	0.906	1,055,560	20	1,158,025
播磨	23	0.936	1,174,896	11	0.806	891,700	34	1,083,274
美方郡	69	0.972	1,178,467	58	0.852	1,009,022	127	1,101,083
豊岡	23	0.953	1,203,735	16	0.852	936,994	39	1,094,303
養父	27	0.993	1,278,200	22	0.892	1,118,550	49	1,206,520
摂津・神戸	10	0.924	1,177,220	6	0.867	937,750	16	1,087,419
県北C	3	0.847	1,135,200	1	X	X	4	1,069,200
市場全体	204	0.963	1,198,207	147	0.855	996,892	351	1,113,896

※Xは個人情報保護上、数値を消すもの。

12月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	34	0.980	1,245,426	21	0.882	1,100,157	55	1,189,960
2	山伸土井	38	1.001	1,233,679	24	0.883	1,016,675	62	1,149,677
	総計	204	0.963	1,198,207	147	0.855	996,892	351	1,113,896
3	忠味土井	17	0.942	1,211,359	17	0.853	1,011,029	34	1,111,194
4	丸春土井	14	0.903	1,188,629	7	0.832	943,643	21	1,106,967
5	悠森土井	19	0.936	1,187,421	7	0.812	877,643	26	1,104,019
6	茂貴波	9	0.951	1,174,067	8	0.875	958,238	17	1,072,500
7	丸彩土井	19	0.959	1,092,589	21	0.838	1,027,871	40	1,058,613
8	照和土井	7	0.906	1,101,414	4	0.851	960,025	11	1,050,000
9	杉広土井	14	0.953	1,223,043	20	0.832	910,635	34	1,039,274

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	B	A+	A++	A+	A++	A+
2	山伸土井	A	A+ → A++	D	A+	A+	A
3	忠味土井	B	A+	A	C	A+	A+
4	丸春土井	C	B	C	B	B	A+
5	悠森土井	B → C	B → C	B	A → B	B → C	A+ → A++
6	茂貴波	A → B	A+	D	D	B → C	B
7	丸彩土井	B	B	A++	C	A	C
8	照和土井	A++	A	C	B	B	B
9	杉広土井	B → C	A+	B	B	A+	A



バックナンバー
← はこちらから

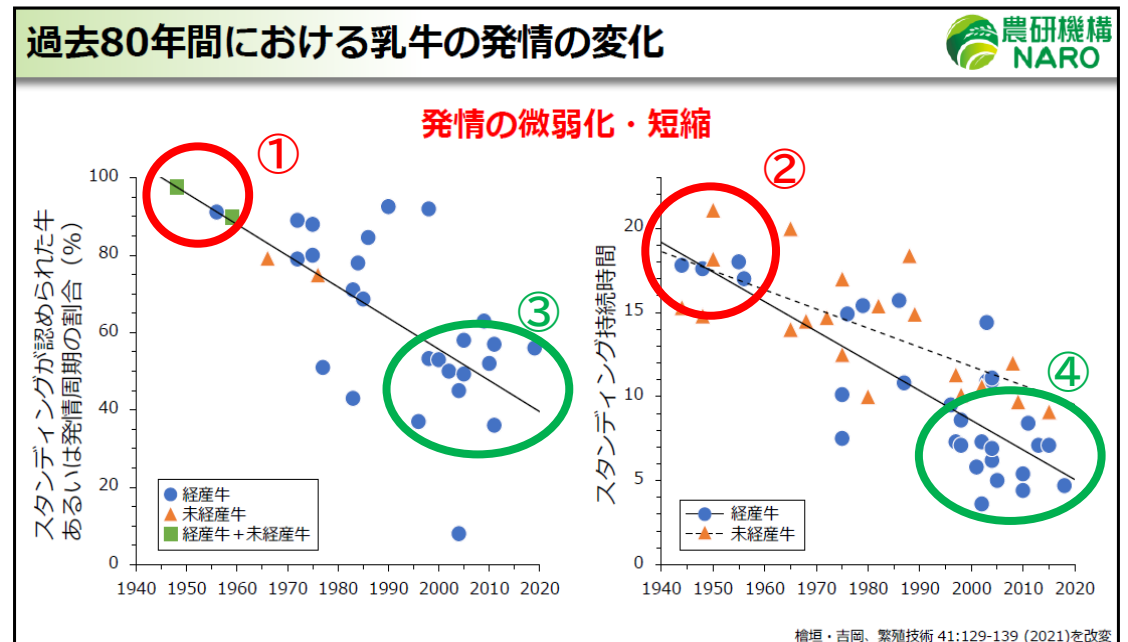
北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和7年4月現在)

発情兆候見つけられていますか？

微弱化しているからこそ、色んな対策で1年1産を！

最近、「昔より発情わかりにくい…」「昔は、発情が近づくと、もっと鳴いたりしてたんやけどな～」といった話をよく耳にします。1年1産を達成するためには、発情兆候を確実に捕まえ、分娩間隔 365 日以内にする必要がありますが…現状、400 日以上かかる牛も多いのではないかと思います。やはり、発情が分かりにくくなっているのでしょうか。

11 月 17 日に開催された「広島大学酪農技術セミナー」に参加し、興味深いデータを拝見しました。過去 80 年間に於ける乳牛の発情変化を追ったもので、発情兆候が微弱化・短縮化していることがわかるグラフです（図 1）。グラフから、1940 年代はほぼ 100%の牛で発情兆候が見られ（①）、また、スタンディング持続時間も 20 時間ほどあった（②）ことが読み取れます。しかし、2020 年代では、発情兆候を示す割合が 50%（③）ほど、スタンディング発情継続時間は 10 時間未満（④）と、発情兆候の微弱化・短縮化が伺えます。こちらは乳牛のデータですが、肉用牛でも同じことが言えるのではないのでしょうか。



（第 10 回広島大学酪農技術セミナーより）

～分娩間隔長期化による遺失利益～

最近、但馬子牛の価格は高騰しています。売り上げ好調！と言いたいところですが、高騰している分、分娩間隔が長くなるほど、遺失利益は大きくなります。遺失利益とは、本来得られるはずだった利益が失われることです。では、分娩間隔が 1 日延びると、いくら遺失利益があるのでしょうか。

分娩間隔 365 日（1 年 1 産）を基準とします。つまり、子牛を販売するチャンスは 365 日で 1 回。子牛の販売価格を 90 万円と仮定すると、チャンスを逃さず 1 年 1 産できた場合、子牛の販売価格は 90 万円となりフルで売れます。しかし、分娩間隔が伸びると、販売するチャンスを逃すことになります。分娩間隔が 405 日とすると、本来販売できたはずの 365 日から 40 日間販売チャンスを逃したことになります。40 日延びた分の遺失利益は、88,889 円（900,000 円-900,000 円×365/405 日）、つまり、1 日当たりでは、約 2,222 円（88,889 円÷40 日）となります。1 年 1 産できていればもっと得られていたのに…。

～では、どう対策していくか？～

■種をつけなきゃ、何も始まらない！

発情兆候がない牛や、発情を確認する時間がない場合、まずは定時人工授精を検討してみてください。コストはかかりますが、授精機会を確実に増やすことができます。

また、導入コストが高いですが、四肢装着型や首輪型の発情発見補助装置も一つの方法です。

■自給飼料の栄養価の確認も！

発情サイクルにタンパク質は大きく関わっています。タンパク質が不足している場合、卵巣の動きが悪くなり、発情兆候が弱くなっている可能性が考えられます。タンパク質不足は牛の見た目からは分かりにくいので、獣医師や家畜保健診療所と相談し、血液を調べてみてみてもいいかもしれません。

■暑さ対策を今のうちから！

暑さは牛だけでなく、卵子にも影響を及ぼします（9月号の裏情報参照）。暑くなる前に、今から暑熱対策の準備をしておきましょう。特に、扇風機（もしくは換気扇）は掃除をするだけで、効率 UP！年末の大掃除に牛舎もキレイにして、来年の暑さに備えましょう。

- 分娩間隔の長期化＝その母牛は毎日損失を出しています！（子牛価格が上昇すれば、遺失利益も上昇します！）
- 定時人工授精や発情発見補助装置等、別の方法も検討してみましょう。
- タンパク質不足により発情兆候が弱まっているかも？自給飼料の栄養価や牛の血液を調べてみましょう！
- 暑くなる前から暑熱対策の準備を！

牛、餌、環境…色々な視点から「攻める」ことが大事です。様々な攻め方で1年1産を目指しましょう。